

第二 1907年「癩予防二関スル件」

1613	新版妙薬速効方 上下	寿仙坊見宜	虫を下す
1618	癩病治療新法	佐竹空宿	高麗伝阿蘭陀流、バテレンが伝える、白癩=物のろい、黒癩=子孫より、血を出し治療
1639	南蛮国秘方十二癩之一流	未詳	平戸で南蛮人から伝授
未詳	阿蘭陀外科明鑑抜粹上下	吉永升庵	
未詳	阿蘭陀外科正伝	吉永升庵	
1686	病名彙解	蘆川桂洲	医学入門の三因説を引く
1688	万病回春病因指南	岡本一抱	モノヨシ、陰房強剛、子孫に伝わる別伝あり
1690	袖珍医便	蘆川桂洲	飲食相反 ゴリとキジで癩に
1691	癩瘡秘方	牛山広正	悪見様事=親より子に伝、血液診断法、悪血を下し血の滞りをなくす
1693	俗解囊方集	苗村文伯	天刑の疾
1699	牛山活套	香月牛山	人間の中、天道にも放たれたる病
17c	時習録	北山友松	血液のくされから発病、家筋・肉食・月経時の交合
1728	医学正伝或問諺解	岡本一抱	癩病に悪虫ありて子孫に伝
1729	済民日用大全	太田春斎	天地の悪風による、「どす」
1729	普救類方	林良適他	肘後備急方・衛生易簡方・本草綱目引用 「癩風(かつたい)」「白癩(しろがつたい)」
1737	国字医叢	香月牛山	伝染の説明、癩は諸病の外、血脈伝染、卑賤の病、濁富の同気、不治の悪疾
未詳	校正病因考	後藤良山	父子兄弟伝染、不治、湯治で膿血を出す
1763	南蛮流癩療治秘書	貝塚氏書	朝鮮征伐の折り唐人より伝、先祖より伝・肉食・天地の殺作・出生時悪血飲む、精進潔斎
1763	建殊録	吉益東洞	狂癩癩風は「人所隠忌」ので居処姓名を除く、悪疾者多由伝継、恥辱を先祖に及ぼす
1782	癩風秘録	建部由道	建部清庵口授、異食で近時諸国に夥し、癩氣・食毒・寒邪による、天刑・血脈否定、鳥獸肉禁止
1785	理癩方	村上良庵	血液検査・尿検査
1786	癩風新書	片倉元周	毒風・食物・房勞穢汚・産後瘀血・血氣相伝等、温泉不可、田舎婚姻拒否、都会富貴問う、癩減少、告知避ける
1786	杏花園医案評	山田凶南	弟子の筆記、一大夫の妻の治験例(すでに数年患う)